

人類永遠の課題

清潔な水を手に入れること。それは、人類にとってなによりも大切なことだと私は思う。昔から、人類はどんな時でも水を飲み、生きてきた。この先も人類にとって、水とはなくてはならないものであると、私は思う。水がもたらす恵みは偉大なものだ。例えば、雨である。雨が降ることによって、川が作られる。地面に落ちた雨水は、農作物を育てる。また、土の中に染み込んでいき、土の作用によって浄化され、やがて粘土層の上に溜まる。この水は、地下水と呼ばれ、水道がなかったころ、生活用水として多く利用されていた。うだ。現在でも、生活用水や農業用水として多くの人たちに利用されている。これらの水のほとんどは、太陽の力を借りながら、循環しているようだ。雨や雪が降り、川に水が流れ、長い時間をかけながら、やがて海に流れ

奈良女子大学附属中等教育学校 二年

福留 菜月

込む。太陽によって、海から水が蒸発し雲になり、また雨や雪として大地に降り注ぐ。まさに、水は半永久的に循環しているものなのだ。このことが、絶えなく起こることによって、私たち人間は、水を利用し続けることができるのだ。

一方で、水の恵みによって引き起きた問題も数多くある。それは、水についての争いである。そのことが印象付けられるのが、ライバル・敵などを意味する「RIVAL」の語源が、川を意味する「RIVER」ということだ。人類が昔からずっと続いている水の争いを意味しているのではないか。人類は、水がないと体調が悪くなってしまう。生きていくための農作物が育てられなかったり、生きていくためにきいていく上で一番大切なものだからこそ、このようなことが起きるのではないか。世界で

は、今も生きるための水を巡り、争いが続いている。水というものがあるだけで、こんなにも豊かな生活を送ることができるので、争いが起きてしまうのだと思う。先日、テレビ番組で、ある小さな女の子が、その子の妹の命を奪った、汚染された泥水を「生きるために飲むしかなかった」と言っていたシーンを観た。私は、家族の命を奪った、その子にとつてとても怖いでもあろうその水を、自分も生きるために汚染された泥水を飲まなければならぬことがどれほどつらいことだろうか。また、私の住む日本では、安全で清潔な水が蛇口をひねると当たり前のように出てくる。これは、とても恵まれていることで幸せなことだ。しかし、世界の多くの人たちが、私たちに比べて身近である清潔な水が得られていないことを知った。一刻も早く、今を生きていくすべての人たちに安全で清潔な水を得られるようになってほしいと思う。

このように、人類にとつてなくてはならない存在である水だからこそ、人々はその水を安全なものにもちろんのこと、より一層美味しく飲めるようにしようとしているのではない

か。スーパーマーケットやコンビニエンスストアなどで売られている「ミネラルウォーター」。その多くは地下水を利用したものである。また、どこかの山の雪解け水が利用されているものも売られており、ミネラルウォーターは人類が生きていく上で大切なものである。私は、普段の生活で安全な水が当たり前のよう利用できてきていることの喜びと、そのことを支えてくださっている方々への感謝の気持ちをもち、水を利用していききたいと思う。世界中のすべての人が、清潔な水を得られるようになることを願って。